

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2011年第2号(週報・月報合併号)

2011年第2週(1月10日~1月16日)、月報2010年12月

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

— インフルエンザ : 患者報告数は増加、今後の動向に注意!! —

県全体の定点当たり患者報告数は、3.02人(前週:1.54人)と増加しました。

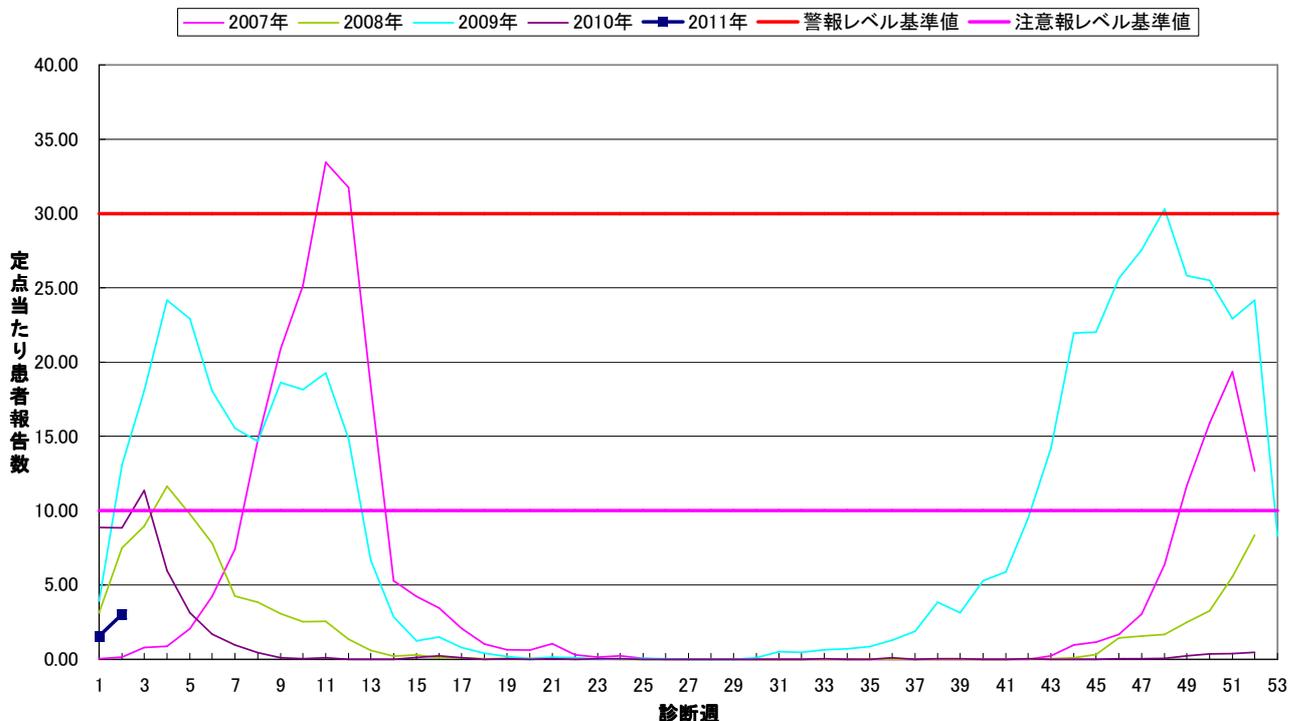
保健所別では、橋本保健所管内が5.00人(前週:2.50人)と、前週に引き続き最も多くなっています。その他、串本支所管内で4.50人(前週:1.00人)と大きく増加しています。現在、海南保健所管内を除くすべての保健所管内で、流行入りの目安となる1.00人を超えています。

国立感染症研究所感染症情報センターの発表によると、全国の第1週の定点当たり患者報告数は、5.06人(2010年52週:2.30人)と増加しています。

今後、さらに患者報告数が増加すると考えられるため、手洗いやうがいを十分に行い、感染を予防しましょう。また、咳やくしゃみ等の症状がある場合は、マスクを着用するようにしてください。

なお、インフルエンザの警報・注意報レベル基準値は警報が30.0人(終息基準値:10.0人)、注意報が10.0人です。(共に定点当たり患者報告数)

インフルエンザ(和歌山県全体)



一 感染性胃腸炎： 県全体の患者報告数は増加！ 一

県全体の定点当たり患者報告数は、6.10人（前週：5.03人）と増加しました。

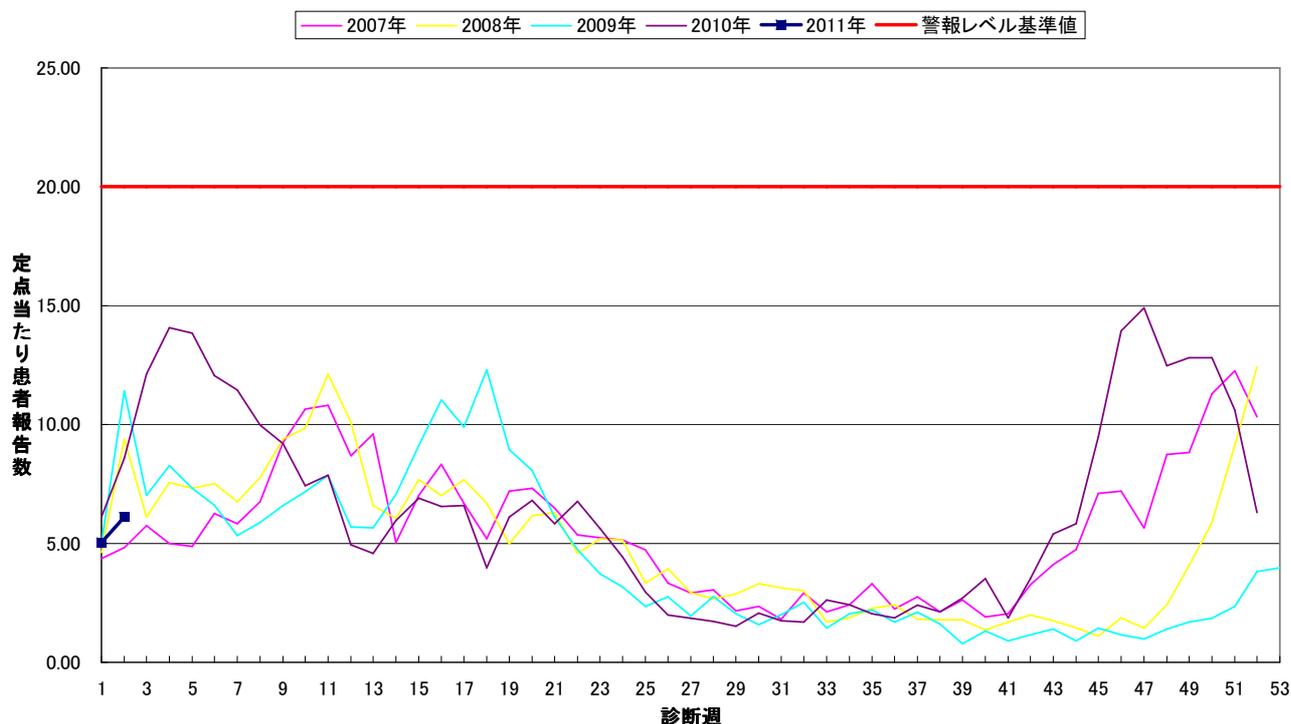
保健所別では、新宮保健所管内の患者報告数が、12.00人（前週：12.50人）と最も多くなっており、終息基準値を超えています。また、海南保健所管内の患者報告数が、11.50人（前週：2.50人）と大きく増加しており、動向に注意が必要です。

国が発行している感染症週報第51・52合併号（12月20日～1月2日）では、全国の定点当たり患者報告数は16.18人となっています。

例年通りであれば、今後患者報告数は緩やかに減少していくと考えられます。今後も、手洗い等の予防を心掛けて下さい。

なお、感染性胃腸炎の警報レベル基準値は20.0人（終息基準値：12.0人）です。（定点当たり患者報告数）注意報レベル基準値は設定されていません。

感染性胃腸炎(和歌山県全体)



－ **流行性耳下腺炎**： **患者報告数は減少も、御坊保健所管内は終息基準値を超えている！** －

県全体の定点当たり患者報告数は、2.48人（前週：3.10人）と減少しました。

保健所別では、御坊保健所管内の患者報告数が、2.50人（前週：7.50人）と減少しましたが、終息基準値を超えています。その他、橋本、湯浅、田辺保健所管内で、注意報レベル基準値を超えています。

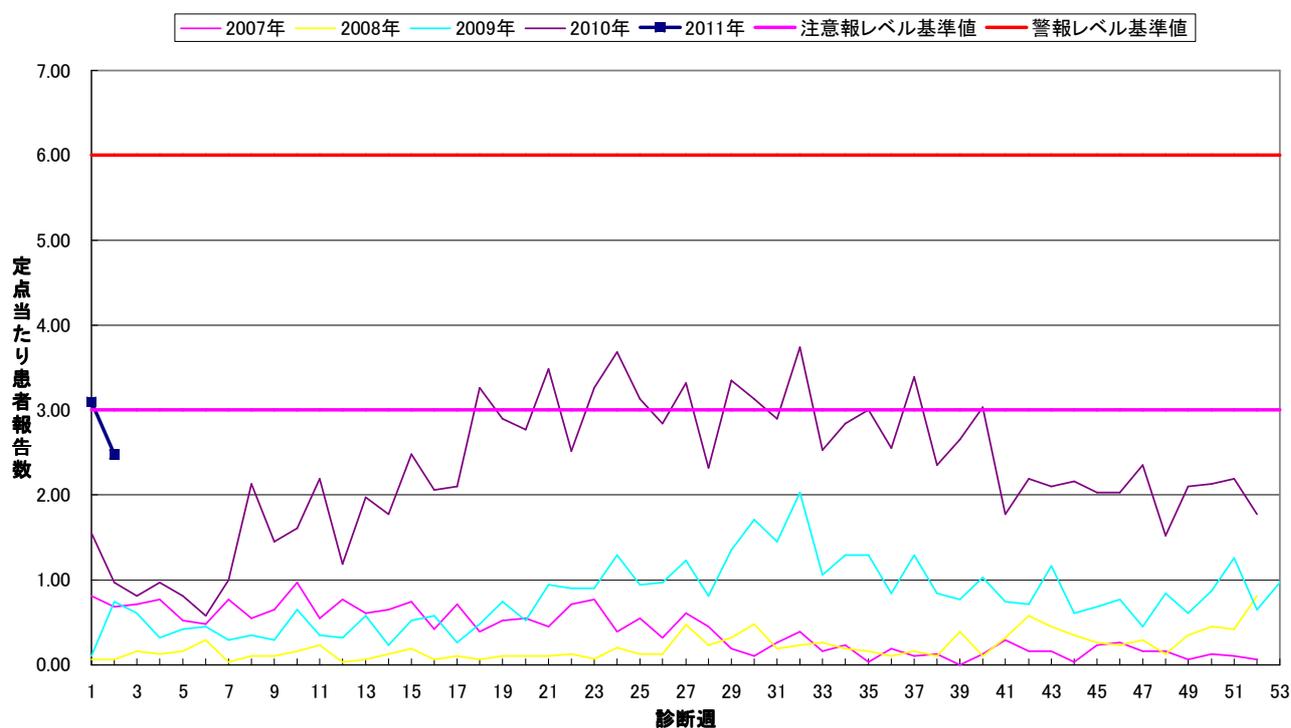
国が発行している感染症週報第51・52合併号（12月20日～1月2日）では、全国の定点当たり患者報告数は1.30人で、過去5年間の同時期と比較してやや多い状況です。

なお、流行性耳下腺炎の警報・注意報レベル基準値は警報が6.0人（終息基準値：2.0人）、注意報が3.0人です。（共に定点当たり患者報告数）

流行性耳下腺炎（ムンプス、おたふくかぜ）の詳しい説明はこちら

http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k03/k03_35.html

流行性耳下腺炎(和歌山県全体)



－ 水痘：患者報告数減少、注意報レベル基準値を下回る －

県全体の定点当たり患者報告数は、2.16人（前週：3.77人）と減少しました。

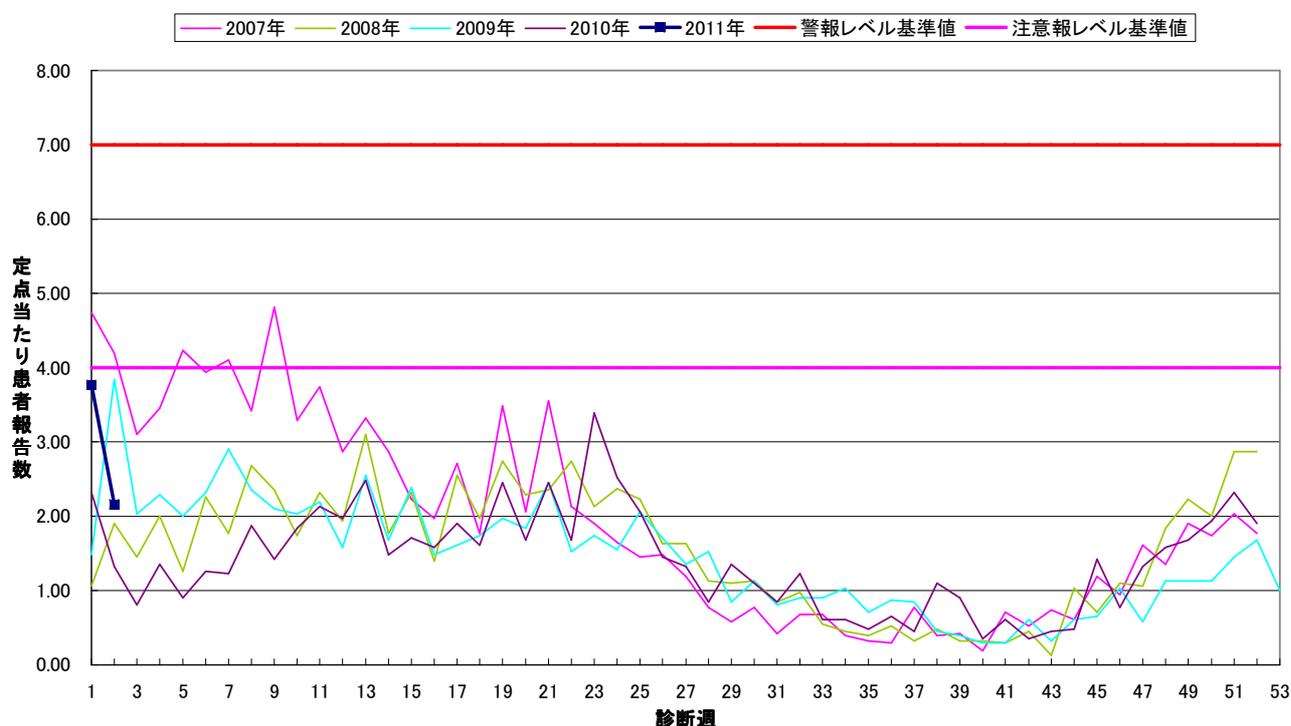
保健所別では、田辺保健所管内の患者報告数が、3.75人（前週：4.75人）と最も多くなっています。前週は、橋本、湯浅、田辺保健所管内で注意報レベル基準値を超えていましたが、今週はすべての保健所管内で注意報レベル基準値を下回っています。

国が発行している感染症週報第51・52合併号（12月20日～1月2日）では、全国の定点当たり患者報告数は2.64人で、2010年第43週以降増加が続いており、過去5年間の同時期と比較してやや多い状況です。

なお、水痘の警報・注意報レベル基準値は警報が7.0人（終息基準値：4.0人）、注意報が4.0人です。（共に定点当たり患者報告数）

水痘（水ぼうそう）の詳しい説明はこちら (http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k01_g2/k01_24.html)

水痘(和歌山県全体)



◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1類感染症：報告はありませんでした。
- 2類感染症：結核1名
- 3類感染症：報告はありませんでした。
- 4類感染症：報告はありませんでした。
- 5類感染症：報告はありませんでした。

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

- 感染性胃腸炎（新宮保健所管内）
- 流行性耳下腺炎（御坊保健所管内）

注意報レベル

- 流行性耳下腺炎（橋本、湯浅、田辺保健所管内）

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	151	1	2	14	6	7	12	6	8	2	1	5	27	6	25	9	8	6	5	1	-
	定当	3.02	0.02	0.04	0.28	0.12	0.14	0.24	0.12	0.16	0.04	0.02	0.10	0.54	0.12	0.50	0.18	0.16	0.12	0.10	0.02	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	33	12	6	6	4	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	1.06	0.39	0.19	0.19	0.13	0.13	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	4	-	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-
	定当	0.13	-	-	0.03	-	-	-	0.03	-	0.06	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	19	-	-	1	1	2	2	1	7	1	-	1	2	-	1
	定当	0.61	-	-	0.03	0.03	0.06	0.06	0.03	0.23	0.03	-	0.03	0.06	-	0.03
感染性胃腸炎	報告	189	5	11	29	23	18	22	9	10	8	10	11	23	1	9
	定当	6.10	0.16	0.35	0.94	0.74	0.58	0.71	0.29	0.32	0.26	0.32	0.35	0.74	0.03	0.29
水痘	報告	67	-	3	11	25	9	4	6	3	4	-	-	2	-	-
	定当	2.16	-	0.10	0.35	0.81	0.29	0.13	0.19	0.10	0.13	-	-	0.06	-	-
手足口病	報告	3	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.10	-	-	0.03	0.03	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	13	-	-	1	1	-	4	-	3	2	1	-	1	-	-
	定当	0.42	-	-	0.03	0.03	-	0.13	-	0.10	0.06	0.03	-	0.03	-	-
突発性発疹	報告	15	1	5	4	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.48	0.03	0.16	0.13	0.10	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定当	0.06	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03
流行性耳下腺炎	報告	77	-	-	6	7	6	18	8	10	13	2	3	4	-	-
	定当	2.48	-	-	0.19	0.23	0.19	0.58	0.26	0.32	0.42	0.06	0.10	0.13	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	55	2	24	30	8	5	13	5	9
	定当	3.67	0.67	4.00	5.00	1.60	1.67	1.86	1.67	4.50
RSウイルス感染症	報告	10	-	6	4	2	6	5	-	-
	定当	1.11	-	1.50	1.00	0.67	3.00	1.25	-	-
咽頭結膜熱	報告	1	-	1	-	-	-	2	-	-
	定当	0.11	-	0.25	-	-	-	0.50	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	2	3	-	6	-	4	4	-	-
	定当	0.22	1.50	-	1.50	-	2.00	1.00	-	-
感染性胃腸炎	報告	78	23	36	4	3	10	11	24	-
	定当	8.67	11.50	9.00	1.00	1.00	5.00	2.75	12.00	-
水痘	報告	19	5	12	6	4	3	15	3	-
	定当	2.11	2.50	3.00	1.50	1.33	1.50	3.75	1.50	-
手足口病	報告	1	-	1	-	1	-	-	-	-
	定当	0.11	-	0.25	-	0.33	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	11	-	1	1	-	-	-	-	-
	定当	1.22	-	0.25	0.25	-	-	-	-	-
突発性発疹	報告	4	1	3	-	2	-	3	2	-
	定当	0.44	0.50	0.75	-	0.67	-	0.75	1.00	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	-	-	-	2	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-
流行性耳下腺炎	報告	23	4	6	15	11	5	12	1	-
	定当	2.56	2.00	1.50	3.75	3.67	2.50	3.00	0.50	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	3	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	1.00	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	1	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	0.50	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

＜院内感染症の動向＞

12月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症(1.64人)、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症(0.18人)で、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありませんでした。また、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の約83%を占めています。

その他の感染症の患者報告数については、和歌山県の場合、毎月0人から数人と非常に少ない状況です。

【12月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	15
	定当	1.64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	0.09	-	0.09	1.36
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	定当	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.18
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2011 年第 2 号

発行日：平成 23 年 1 月 19 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail e0503001@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。